

ステップ2 売りたい人と買いたい人をオークションが結ぶ!



会場の駐車場にずらりと並んだ出品車
JU長野では、1年間47回オークションを開催し、年間約1万9000台、1回の平均で約410台が出品されました。そのうち成約売買が成立した台数は約7500台となっており、車が長く乗りつがれることに貢献しています。

出品される車は、細かなところまできびしくチェック



ステップ1 出品される車をすみずみまでチェック



車の前後に加え、車内も撮影

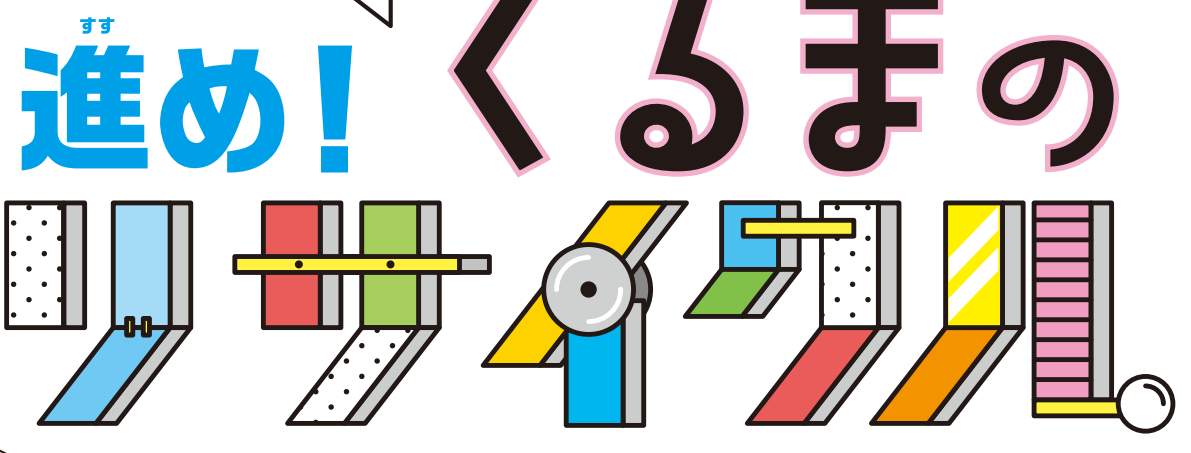
買いたい人へ正確な情報を!



まず出品車の状態を検査し写真もとるよ

自動車リサイクル博士が車のリサイクル現場をたずねる第4回は、車のオークション会場です。ここでは、売りたい人と買いたい人を結んで、車が長く乗りつがれるリユース(再利用)促進に大きな役割を果たすとともに、新しいユーザーへのリサイクル料金の引きつぎも行っています。では、実際に、このような仕組みや流れで車の売買が行われているのを見てみましょう。博士と一緒に、長野県にある「JU長野」のオークション会場を見に行きましょう。

未来の地球のために!

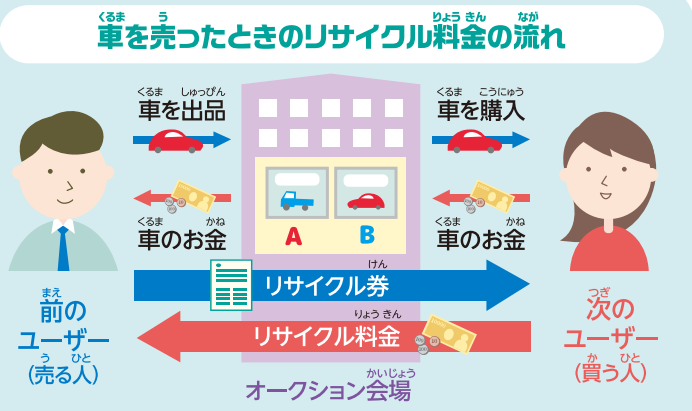


第2部 みんなが協力! 車のリサイクル



ステップ3 「リサイクル料金」は買った人にボタンタッチ

リサイクル料金は、JU長野では、リサイクル料金の引きつぎもお手伝いしています。リサイクル料金は、使用済みの車が適切にリサイクルされるために必要な費用として、新車の購入時にユーザーが支払うものです。中古車として売られる場合には、その車を買ったユーザーから買ったユーザーへとリサイクル料金が支払われることにより、リサイクル料金が引きつがれる仕組みになっています。そこで、JU長野では、オークションに出される全ての車にリサイクル料金が支払われていることを確認しています。車の売買が成立すると、車を買う人から車の代金と一緒にリサイクル料金をあずかります。そして、そのあずかった車の代金とリサイクル料金をあずかったユーザーに支払います。このように車が長く乗りつがれるための仕組みを運営しています。



リサイクル料金のやり取りもお手伝い!



おたずねしたところ
社名: JU長野 (長野県中古自動車販売商工組合)
住所: 長野県塩尻市
オークションをとおして車の再利用を促進しているほか、交通遺児支援なども行っています
ホームページ: <http://www.junagano.or.jp/>

リサイクルクイズ
オークションで車を買った人は、前のユーザーが「リサイクル料金」を支払っているので、自分はリサイクルのための費用を負担しなくてもいい。
○か×か?
JU長野 大和 渡部長

博士のまとめ

資源保護にも役立つ車のリユース
車が中古車として長く乗りつがれることは、限りある資源を大切に使うことにつながっているね。車を売りたい人と買いたい人を結ぶオークション会場は、そうしたリユースを進める上で欠かせない場になっているんだよ。



さあ、次は車の「生産」の現場をたずねるよ!

HPでは自動車リサイクルをもっとくわしく学べるよ!
「博士の日記」で今までの記事もチェックしよう!

トピックス
雪国ならではの
冬に雪の多い長野県では、雪道をより安定して走れる4WD車(4輪駆動車)が、オークションでも比較的高い金額で売られるそうです。車のオークションには、そうした地域による違いもあるんですね。

クイズのこたえ
×. 買った人は売った人にリサイクル料金に相当する金額を支払うよ。こうしてリサイクルの費用は引きつがれ、廃車になった時の持ち主が負担するんだ。